

令和7年度おおさき市民健診の申し込みが始まります

☎ 健康推進課健康増進担当 ☎23-2215
各総合支所市民福祉課

全世帯の世帯主宛てに市民健診のお知らせと申込書(はがき)を2月上旬に郵送します。内容を確認し、忘れずに申し込みしましょう。なお、市民健診を受けない場合でも、理由を記入して提出してください。

また、市民健診の自己負担額の変更および日程、場所など詳しくは、市ウェブサイトを確認してください。

■申込方法および期限

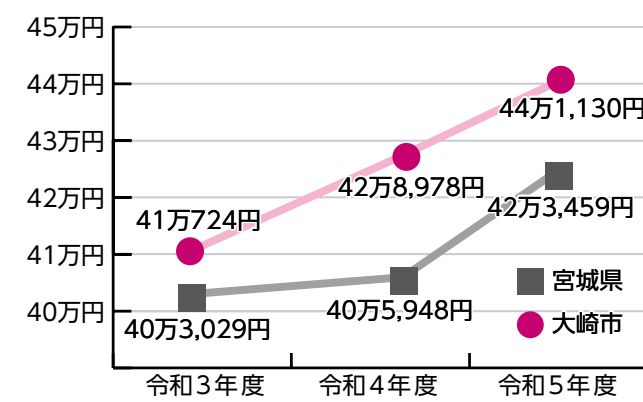
- ▶ 申込書(はがき)を送付(2月20日(木)まで)
- ▶ 申込フォームからの申し込み(2月28日(金)まで)
※申込フォームは1月29日から開設します。



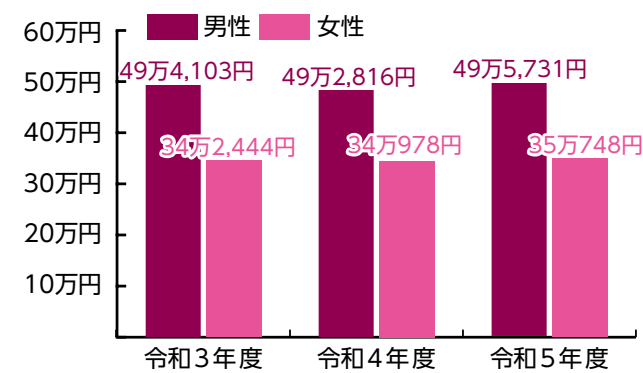
■変更点(自己負担額が変わります)

検(健)診名	対象者	変更前	変更後
結核・肺がん検診	40歳～64歳の人	500円	600円
胃がん検診	40歳～69歳の人	1,800円	1,900円
	70歳以上の人(65歳以上の後期高齢者医療被保険者含む)	600円	700円
大腸がん検診	40歳～69歳の人	500円	600円
	70歳以上の人(65歳以上の後期高齢者医療被保険者含む)	200円	300円
肝炎ウイルス検診	41歳～69歳の人で5歳刻み年齢ではない人	800円	1,000円
	71歳以上で5歳刻み年齢ではない人(66歳以上の後期高齢者医療被保険者含む)	300円	400円
健康診査	19歳～39歳の人	1,500円	2,000円
子宮頸がん検診 ^{けい}	20歳～69歳の女性	2,100円	2,300円
	70歳以上で令和6年度に市の子宮頸がん検診を受診していない女性(65歳以上の後期高齢者医療被保険者含む)	700円	800円
乳がん検診	30歳～39歳の女性	1,800円	2,000円
	40～64歳で令和6年度に市の乳がん検診を受診していない女性	2,400円	2,700円
	65歳以上で令和6年度に市の乳がん検診を受診していない女性	500円	600円

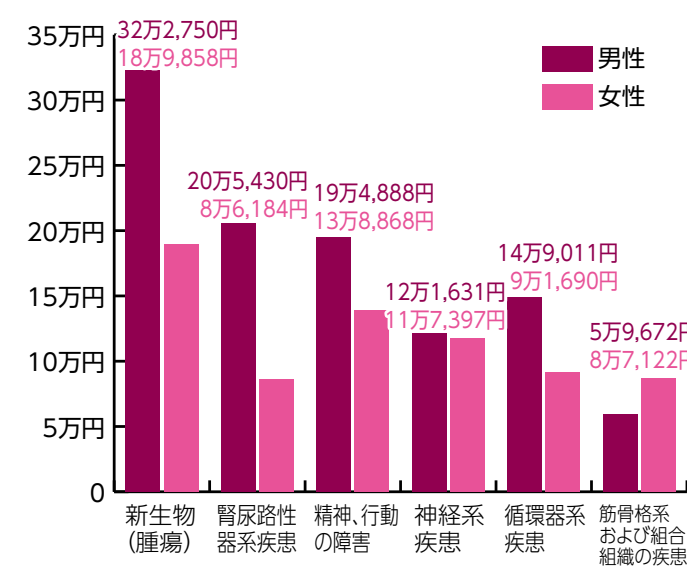
■一人当たりの医療費の平均額(図1)



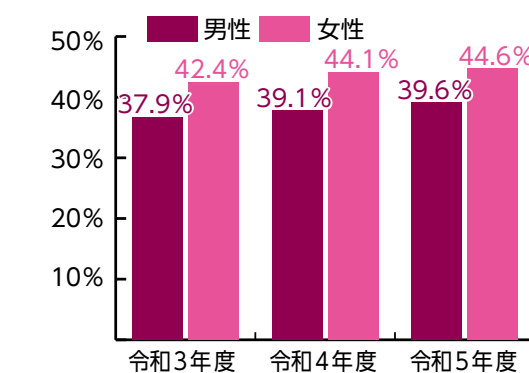
■患者一人当たりの医療費(図2)



■令和5年度疾病別一人当たり(男女別)の医療費(図3)



■特定健康診査の男女別受診状況(図4)



健康な生活を 持続するために —国民健康保険の医療費から 考えてみよう—

☎ 保険年金課医療保険担当 ☎23-6051

国民健康保険(国保)は、会社員などが加入する社会保険や共済組合とは別に、自営業や農業など、勤務先の健康保険に加入していない人の医療を保障する制度です。国保は、加入している被保険者からの保険料と、国や県の負担金などを財源として、県と市が運営しています。

大崎市国民健康保険加入者の医療費分析

令和5年度の診療報酬明細書(レセプト)から見た市の国保の医療費の総額は約117億円で、一人当たりの医療費も増加し続けています。(図1)

令和5年度の一人当たりの医療費を男女別にみると、男性は49万5731円、女性は35万748円で男性の方が14万4983円高くなっています。(図2)

疾患、女性是不眠症やうつ病などの「精神、行動の障害」が高くなっています。(図3)

特定健康診査の受診状況

国保に加入している被保険者の特定健康診査の受診状況をみると、女性よりも男性が約5パーセント受診率が低くなっています。(図4)

健康診査の受診者は、未受診者よりも一人当たりの医療費が低くなっています。

このような分析結果から、より多くの被保険者が健診を受診することで自身の健康状態を知り、初期症状での治療が重症化を防ぐことにつながるということが分かります。

いつまでも健康な生活をするために、健診を受けましょう

健診を受けることで早期発見・早期治療につながり、さらに、健康寿命の延伸につながります。おおさき市民健診の申し込みについては、ページを確認してください。